

- 自分や友だちのよさを知り、相互尊重できる子ども
- 「なりたい自分」を見つけた子ども

**自分が好き 友だちが好き 学校が好き 湯川村が大好きな ゆがわっ子**

- 将来どこで生活することになっても、「湯川村のよさや風景」を表現することができる子ども

【めざす子ども像(中学校卒業時の理想の生徒像)】

**知 かしこい ゆがわっ子**

- ◎自ら気づき、考え、判断・決定し、率先して行動できる子



**情 しなやかな ゆがわっ子**

- ◎あらゆる変化や多様性を受け止め、周囲と調和を図りながら柔軟に対応できる子



**健 たくましい ゆがわっ子**

- ◎心身の健康管理に努め、強い意志で励み、挑み、自己の目標達成に向けて努力する子



- ①ふくしま学力調査、全国学力学習状況調査において、すべての学校、学年、教科で平均正答率が県(全国)平均以上
- ②ふくしま学力調査、全国学力学習状況調査において、すべての学校、学年で「国語、算数(数学)、英語の勉強が好き」が県(全国)平均以上
- ③学力検査(NRT)において、すべての学校、学年、教科で、偏差値が小学校52、中学校51以上、アンダーアチーバーが0
- ④1カ月の平均読書冊数が、すべての学校、学年で前年よりプラス1冊「今、どんな本を読んでいるの?」の会話が弾む学校・家庭

- ⑤学校アンケート項目の「あいさつ」で、保護者評価4.2以上
- ⑥3月までには、いじめ未解決0、不登校0
- ⑦全国学力・学習状況調査「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」が、すべての学校・学年で全国平均以上
- ⑧hyperQUで、すべての学級が「学級生活満足度」70%以上、「学校生活意欲プロフィール」および「ソーシャルスキル尺度(配慮・かかわり)」が全国平均以上。  
※hyperQUの結果や児童生徒の実態に応じた「人間関係づくり」を意図した授業の実践や学校行事

- ⑨学校アンケート項目「早寝・早起き」の保護者評価が、幼稚園・小学校4.5、中学校4.0以上、「家族で『おはよう』」の保護者評価が、幼稚園・小学校4.2、中学校4.0以上
- ⑩学校アンケート項目「メディアコントロール(1日2時間以内)」の保護者評価が、幼稚園・小学校・中学校すべてで4.2以上
- ⑪学校アンケート項目「毎日、朝食と夕食を摂っている」の保護者評価が、幼稚園・小学校・中学校すべてで4.8以上
- ⑫「体力・運動能力調査」において、小・中学校のすべての学年で、全国平均以上
- ⑬小学校・中学校のむし歯治療率100% ⑭肥満度20%以上の児童生徒0(ゼロ)

【達成するための手立て】

- 【放課後児童クラブとの連携】**
- 「何をして過ごすか」を自分で決める。
  - ルールを守り、友だちと仲よく過ごす。
  - お互いに「心身の安全」を大切にする。

- 【家庭との連携】**
- 健康的な生活リズムの確立
  - 「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
  - 「家族で『おはよう』・家族で話そう」の推進
  - メディアコントロールの推進
  - 自分に合った家庭学習時間の確保
  - 読書の習慣・家族で読書についての会話
  - 家族の一員としてのお手伝い

- 【地域との連携】**
- ◆コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進
  - 農業体験学習(「お米の学習」・野菜づくり)
  - おはなしの会ゆがわ・文化協会・スポーツ協会等による体験活動
  - 「おらが村の応援隊」による支援活動
  - ◆学校から地域へ
  - 勝常寺念佛踊りへの参加
  - 菟川地区ならではの学習活動の開発
  - 村民芸能発表会や村民運動会への参加
  - ここがふるさと作文コンクールへの参加

- 【教育委員会の施策】**
- 「人間関係づくり」の推進
  - 「人間関係づくり」年間計画モデルの提示
  - 「人間関係づくり」研修会の開催
  - 教職員の指導力の向上
  - 学校教育アドバイザーによる指導助言
  - 特別支援教育の充実
  - 特別支援アドバイザー・教育支援員の配置と活用
  - 特別支援教育研修会の開催
  - 外国語教育の推進
  - ALT2名の配置と活用
  - 小5・6年生、中学生の英語検定受検料補助
  - ICT教育の充実(タブレット等の活用)
  - ICT教育研修会の開催

**【小・中学校で】** ◎いつでもどこでも、小さな機会をとらえて、「ほめる・認める」、「励ます・支える」、「つなぐ」

**授業前** <授業にあたっての留意点>

- 本時のねらい(手立て、ねらいを達成した子どもの姿)

**授業中(主体的・対話的で深い学び)**

- 「キーワード」などに線を引きよう指示。
- 本時の「めあて」の明示(※黄色チョーク等)と学習への意欲づけ
- 課題解決の見通し(結果・方法)の確認  
※電子黒板やタブレット等の活用
- 自分の考えをもつ時間と伝える場の設定  
※電子黒板やタブレット、図書室の活用
- 気づきや考え、感想を共有し深める「対話」の時間をコーディネート
- 学んだことを生かして練習し、習熟を図る時間の確保 ※タブレットの活用
- 本時の「まとめ」の明示(※黄色チョーク等)
- 本時を振り返り、感想や疑問などの記録を指示

**授業後(アフターケア的)**

- 本時のねらいが達成できなかった子どもへの対応

**授業展開**

**体育科で**

- 運動身体づくりプログラムの実践
- 振り返りカードへの記録の累積

**道徳で~「4つの視点(A~D)をもつ」**

- SGEやPA、SSTの実践
- 自他尊重や自己肯定感が高まる工夫
- 郷土理解が深まる工夫

**学級活動や児童会・生徒会活動で**

- SGE、PA、SSTの実践
- 集団効力感や団結力が高まる工夫

**学校行事やクラブ(部)活動で**

- 異年齢集団活動の工夫・実践

**総合的な学習の時間、その他で**

- 地域の方々との交流を深める工夫
- 読書活動の充実

**【授業中のルールの確立】のために**

- 授業開始を、自分の席に座って待つ。
- 指名されたらきちんと返事をする。
- 他の人の考えをしっかりと聞き、自分の考えと比べる。
- 授業に集中し、聴く・話す・書く等の切り替えをする。

**【「親和的な学級集団づくり」のために】**

- 「人間関係づくり」の理念に基づいた学級経営
- SGE・PA・SST等の実践
- hyperQUの実施・分析・結果活用(5月、11月)
- 「ほめる」「認める」「支える」「つなぐ」かかわり

**【「家庭学習の習慣の確立」のために】**

- 学年(自分)に合った家庭学習への取組み
- 保護者(家族)によるコンプリメント(称賛や支援等)
- 教師によるコンプリメント(称賛・承認・励まし等)
- 「家庭学習の手引き」の共通理解

つなぐ【架け橋プログラム】 ↑ 【架け橋期のカリキュラム】

- 【幼稚園で】** ◎様々な体験+アタッチメント体験
- <幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」>
- ①健康な心と体 ②自立心 ③道徳性・規範意識の芽生え ④思考力の芽生え
  - ⑤社会生活とのかかわり ⑥自然とのかかわり・生命尊重 ⑦言葉による伝え合い
  - ⑧協同性 ⑨数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑩豊かな感性と表現
- <様々な体験>
- 大切にされる体験 □様々な人に出会う体験 □ルールやマナーを守る体験
  - 感情体験 □友だちと協力し合う体験 □ほめられる体験 □自然体験 □絵本に親しむ体験

つなぐ【架け橋プログラム】 ↑

- 【保育所で】** ◎大切にされる(アタッチメント)体験
- <幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」につなぐ土台の体験>
- 大切にされる体験⇒じぶんがすき みんながすき
  - 変化や違いに気づき、不思議に思う体験⇒変化や現象に気づき感動する子
  - 伝える楽しさ、伝わる楽しさの体験⇒よく見てよく聴きよくまねる子
  - できた・うれしい、失敗・くやしい体験⇒考えて 試して 工夫する子

- 【心身の健康・安全のために】**
- 心身ともに健康的な生活を送るために
  - ①基本的な生活習慣  
○睡眠 ②食事 ③排便 ③歯みがき ④運動
  - ②衛生的な行動様式  
○手洗い・うがい ○ハンカチやティッシュの携行
  - ③心の健康  
○あいさつ ○メディアコントロール
  - 安全な生活を送るために
  - ①集団生活のルール・マナーの遵守
  - ②交通ルール・マナーの遵守  
○道路の横断、集団での歩道の歩き方  
○自転車の乗り方、ヘルメットの着用
  - ③危険回避スキルの獲得  
○危険予知トレーニングの実践